

## 土地利用構想（事業主：社会福祉法人東京サレジオ学園）に係る調整会 会議要録

### 1 日時

令和5年4月28日（金）午前10時から11時30分まで

### 2 場所

小平市役所 6階 602会議室

### 3 出席者

(1) 請求者 1名

(2) 事業主 社会福祉法人東京サレジオ学園及び設計者 5名

(3) 事務局 都市計画課 5名

※請求者は、複数名が一組ですが、本要録においては同一人物としています。

### 4 傍聴者

2名

### 5 議事

土地利用構想に係る意見書及び見解書の内容の確認及び整理

(1) 事業主

社会福祉法人東京サレジオ学園 理事長 村松 泰隆

(2) 事業場所

小平市上水南町四丁目592番1 外

(3) 土地利用目的

児童養護施設

### 6 資料

(1) 調整会開催請求書

(2) 土地利用構想届出書の写し

事務局：都市開発部都市計画課開発指導担当

(事務局)

定刻になりましたので、ただ今から土地利用構想に係る調整会を始めさせていただきます。  
はじめに、事務局の紹介からさせていただきます。  
こちらが、都市計画課の課長以下計5名でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。  
次に、事業主側の自己紹介をお願いします。

(事業主)

社会福祉法人東京サレジオ学園及び設計者です。よろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございます。  
次に、今回の調整会請求者の自己紹介をよろしくお願ひいたします。

(請求者)

請求者です。よろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございます。  
それでは、調整会の開催に当たりまして課長から一言ご挨拶させていただきます。

(事務局課長)

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。  
本日の調整会において、事業主と周辺住民の方が直接顔を合わせ意見交換することで、互いの立場や状況を理解していただき、互譲の精神を持ってより良いまちづくりをしていただきたいと思いますと考えております。  
本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

それでは、以後、座ってご案内させていただきます。  
はじめに私から、調整会の注意事項等をご説明いたします。  
今回の調整会につきましては、開催請求書が1件提出されました。この調整会は、見解書の内容を確認し、相互の意見を調整する場となります。意見に対する見解を説明し、明確にすること、相互の論点が整理されることを目的としております。調整会で取り扱う内容は、意見書及び見解書に記載された内容に限られておりますのでご注意ください。

なお、論点は整理されても、折合いがつかない場合や平行線のまま調整会を終えることも想定されますが、それで話し合いが終わるわけではなく、調整会において整理された状況に基づき、別途話し合いを行ってください。

大声を出して話し続けるなど、会の進行を妨げるような言動があった場合には、事務局で判断

し、会を取りやめることもありますのでご注意ください。

続いて傍聴人の方にご案内いたします。会議中の発言や拍手等はおやめ下さい。会の進行に支障があると事務局が認めた場合は、退室をお願いすることもございますので、ご了承ください。写真撮影及び録音はお控えください。携帯電話などの通信機器は、マナーモードの設定にするようお願いいたします。

配布いたしました資料は閲覧用であり、お帰りの際に回収させていただきますので、よろしくようお願いいたします。

続いて傍聴人席においてあります配布資料の確認をお願いいたします。

調整会開催請求書と土地利用構想届出資料の組合せが1セット、すべて両面印刷でございます。不足等ございましたら、お声がけをお願いします。

それでは、この後の流れをご説明いたします。

本日は、話し合いの時間を60分とさせていただきます。終了5分前と終了時にお声がけ致します。

話し合いが終了しましたら、調整会第2回目の開催を希望するか、個別の話し合いに移っていくか、ご希望を賜ります。

また、事業主である東京サレジオ学園様においては、この場で回答できる内容については出来るだけ回答して頂き、なるべく保留事項が残らない様にお願いします。

それでは、請求者の発言を開始いたします。まず、調整会開催請求内容の要点についてご説明をお願いします。

(請求者)

サレジオ学園さん、本日は日々お忙しいなか、今回調整会にご対応くださりありがとうございます。「上水南町四丁目地区まちづくり準備会」は、この度の貴学園の改築計画、それに伴う敷地の一部売却、そこでの大規模な宅地開発、それらによるこの地区の街の大きな変化に対する住民の不安をきっかけに、住民等でまちづくりというものを考えていく、そして話し合う場が必要だと考え設立したものです。こちらのまちづくり準備会の基である「小平市民等提案型まちづくり条例」の第3条について請求書に書かせていただきました。こちらには市民等の責務として、市民等は、市民等相互の協力と理解により、個性や魅力のある住みよいまちづくりを推進するため、地区の特性を活かしたまちづくりに主体的に取り組むよう努めなければならない、と記載されています。この条例の主旨に私共賛同いたしまして、準備会を立ち上げさせていただきました。地区の環境は、市民が主体となって活動し、行政その他関係者と連携してこそ、守り育てていけると思っております。私たちはそうした活動を担う団体として、上水南町四丁目地区まちづくり準備会を運営していきたいと考えております。また、サレジオ学園さんの緑豊かな素晴らしい環境、これを愛してこの地に住んでいる住人も非常に多くおります。今回のことをきっかけに本当に多くの方がこの環境を愛してここに住んでいるんだな、と実感しております。今回の改築計画により、結果的にこの地区の大きな緑を失うことになるということについて、私共近隣住民として何かできなかったのか、という後悔も強くあり、多くの方からそのような声を聞いております。まちというものは、生活に合わせて、時代に応じて形を変えていくものだと思いますし、歴

史的にもそういうものであると考えております。サレジオ学園さんの改築という、サレジオさんにとって大きな決断があつて、このような結果になつたというのは、説明会等でご丁寧に説明があつたので、私たちも理解、応援している立場でございます。これをきっかけに、この地区全体でまちづくりというものを改めて考え、そしてまちづくりの方向性を地区の住民と共有し、方向性が変わるなら、同じ目標を持って同じ方向にみんなで力を合わせたいと思っております。

準備会への参加について、これまでたびたびお願いを申し上げてきたわけですが、それは今申し上げた、会の設立の経緯と、この地区の中心にサレジオ学園さんがあるということから、ご参加いただきたいということでございます。見解書におきましても、この会への参加につきましては消極的であるというご見解をお示しいただいていますが、本調整会では、準備会の活動内容について、私共が条例の主旨と具体的な活動の内容について理解が不十分だった部分を整理したうえで、改めて準備会として活動していきたいことをご説明し、認識のズレや相違のある点を調整させていただきたいと思ひます。

サレジオさんが「サレジオ学園が考える基準での景観整備をまちづくり条例の中でルール化すること」が、「町内全体の建築計画等に影響を及ぼす」ことを心配されているということについて、まずは計画やルールといった内容のことは地区住民の話し合いで決めていくものであつて、例えばサレジオさんの景観整備基準をルール化して、地域の住民の方々がそれに従うものではないのでご安心ください。あくまでも、地区まちづくり準備会では、まず話し合いをします。皆が同じ問題点を共有し、どうしたらいいかという話し合いをしたうえでルールが必要なかどうかを準備会でまず話し合う、というものです。ルール作りの必要性についても、準備会で話し合い、必要ないということになれば、協議会の設立には至りません。この点が、市の方からの条例のご説明やパンフレットで、私共の理解が不十分だった点です。まずは準備会において話し合いをしたい、そのうえでルール作り、計画作りは、準備会の話し合いの場において必要だということであれば、協議会という形にしたうえで作っていくものになるということをご説明させていただきます。従ひまして、まずは計画やルール作り以前の話し合いの場として、準備会への参加をお願いするものでございます。

見解書の中で、サレジオさんの方から地域住民との交流を大切に考えて下さっているということがあり、大変うれしく思っております。その地域住民等が交流できる場として、どういった形が良いのかと私共も考えました。例えば有志による任意団体を立ち上げるといった方法等もあると思うのですが、地区の皆様、今後サレジオ学園さんの敷地だったところに建つ住宅の皆様にも、準備会に入つていただくことによって地区の全体の皆様の考えというものが集められると思ひます。より多くの方に安心して参加していただける場ということでいえば、やはりこの小平市の条例に基づくまちづくり準備会が一番ふさわしいのではないかと私共は考えております。こういう団体に入つて話しましょうというときに、市が認定している団体の方が、皆様敷居が低く入りやすいと考えております。

この地区の住民が、今回の改築をきっかけに、この地区が変わることに対してまちづくりを考える場、まずは話し合う場、相互に理解し目標を共有する場ということで市が認定した準備会というところを活用していきたいと考え、サレジオさんは中心的な存在と考えておりますので、この会への参加を前向きにご検討いただきたいことをお願いしたく思ひます。

(事業主)

まちづくり準備会の皆様には今回の事業につきまして、一番最初にご理解いただいて、また、地域の皆様に、学園の考えなどをお伝えいただいて、今回の事業が進むことに、本当に感謝しております。ありがとうございます。私共も、交流の部分であるとか、今後どのように、地域の皆様と学園の子たちが一緒に生活をしていくかというあたりは、今後もこちらからお願いしたいと考えております。

準備会について、法人として引っかかってくるのが、協議会となると、計画を作ったりルールを作ったりというあたりが目的になると受け取っております。ほぼ100%公金で子供たちの生活が成り立っておりますので、今後大きな運営の決断をするときに、法人以外のところからの決定に影響が与えられることは公金施設としてはやはり避けなければいけません。それから、学園が大きな面積を持っているために、最終的に我々が賛同するのかもしれないのかというような、そんな責任をサレジオ学園は負えないというところが正直な気持ちです。準備会から協議会に上がるというときも、私共が参加するのかもしれないかで影響を与えてしまうというのは、子供たちをたくさん抱える一事業者としては、地域の皆様にそれだけ影響を与えてしまうということは責任が大きいのではないかと考えております。

(請求者)

今までご説明してきた内容と、私共で理解が至らなかったということで改めさせていただいた部分をもう一度ご説明させていただきます。準備会と協議会は目的が異なり、地区まちづくり計画やルール作りというのは協議会でやるもので、そこに至るまでの、必要性があるかどうかということ話し合う場というのが準備会だと市のご担当者からこの度改めて説明を受け、理解しました。今私たち住民の中では、この地区のまちづくりを考えていく枠が必要で、サレジオさんがいまおっしゃっていたようなお考えを聞く場として、やはりそれは準備会の場にご参加いただいております。お話いただけたらありがたいな、と思います。その場で、サレジオさんの方で懸念されているような、協議会に移行するときにサレジオさんのご判断が地区住民に影響を与えてしまうとか、ルール作りといったものに対して非常に大きな影響を与えることについても、まちづくり準備会で話し合えばよいと思います。準備会にご参加いただいたとしても、そこでルールを作るという話にいきなり行くのではなくて、ルールそのものが必要なのかなど、皆さんが個々に抱えていらっしゃる想いをまずは出していただく。まちづくりということに関して、この町をどうしていきたいかという方向性を話し合う場の第一段階ということで、もう少し気楽にご参加いただきたい。準備会に入ったからその後協議会に行かなければいけないというものでもなく、あくまでも協議会が必要かどうか、ルール作りが必要かどうか話し合う、前段階の準備会ということで、協議会とは切り離していただき、ルール作り、計画作りというのは協議会であるという認識で、準備会への参加を改めてご検討いただけないかなと思います。

(事業主)

準備会は、結局協議会を作るためのもので、準備会に参加することが、協議会やルール作りに

賛成してるようになる認識があります。今お話しを伺って、違う印象を受けたのですが。

(請求者)

私共が市から説明を受けた際の理解もそうですし、パンフレットや、また今回条文を再度読み込みましたが、協議会は「ルールや計画をつくることができる」とありますが、必ず作らなければいけないなんて書いてないです。ところが、この度市の方とお話ししていく中で、提案型まちづくり条例は、計画、ルールを作ることが最終的な目標になっているので、協議会というのはそれを目標としないと設立は認められないということを知りました。準備会というのは、協議会を作るための準備会というよりも、地区住民が町に対して問題意識を持ったところから、まず話し合いをする。協議会に行くか行かないかというのは、準備会の話し合いの場で、皆さんの総意で決める、そこが今まで私共の理解が及ばなかった部分で、正しくお伝えできていなかった部分です。準備会と協議会はいったん切り離していただいて、あくまでも話し合いの場として、皆様が顔を合わせる場として、市の認定があるというこの制度を利用しようという考えです。協議会に行くための準備というわけではなくて、まちを作るところでどういった問題意識があるか、とか、あるいは必要なこと必要でないことを、それぞれの立場で話し合おうという機会が準備会です。

もう一つお伝えしたいと思ったのは、市自体が準備したフレームであるので、いろんな立場の人たちがフラットな関係で、参加しやすいものかなという理解をしています。ですから、どこかが、一方的に、どこかの立場で集まってくださいというわけではなく、関係している人たちが集まれる場を準備会という形で持てるというのがまず一つあると思います。それで、そうしたときに、そこに関わる町の人たち、いろんな問題意識や都合があると思うんですが、それをその場で、お互い共通の立場で話し合える。賛同できる部分、できない部分、いろんなことが出てくると思いますが、それらをフラットな立場で話し合えるというのは、準備会のいいところだと思います。そういう機会が活用できるのであれば、住民、サレジオ学園さん、あるいは開発事業主、いろんな立場の方たちがいるので、そこがいい形で話し合えるというような場ではないかなと思います。そこにご賛同いただけるのであれば、お考えを少し進めていただければと思います。

まちづくり準備会としていいところは、市の補助金もついておりまして、市の制度として、まちづくりアドバイザーという専門の方に来ていただいて、私たち住民同士のフラットな話し合いに専門家の知見というものをいただきながら、また、必要に応じて市のご担当者の方にも入っていただくことも可能だと思うので、ぜひこれを最大限利用していただくといいと思います。

(事業主)

いまお話しを伺っていて、準備会に参加するというのが、準備会のメンバーに加わるということなのか、その会にお伺いすることなのか、そこはどのような受け取り方が良いのかと思っております。

もし皆様がまちづくりについてお話をされる場に私共がお伺いして意見交換をするということであれば、ぜひお願いしたいと常々思っておりますし、皆様にも学園にいらしていただいて、いろいろなこととお話しさせていただいてきましたが、それをもう少し広い形で準備会にいらっしゃっている方にお伝えすることは、ぜひお願いしたいと思っております。

(請求者)

今までのサレジオさんとのお付き合いを考えますと、メンバーになっていただかなくても、お声を掛けたら集まりには来てくださるかなと信じておりました。今回は、何かお役をとというわけではありませんが、メンバーとして加わっていただきたいと思います。この先新しくできる住宅五十何軒の事業主であるトヨタホームさんには、まちづくり準備会への参加をお願いしているんですけども、少なくとも販売するとき、購入する方にはまちづくり準備会への参加をご案内します、とおっしゃっている。その時に、メンバーとしてサレジオさんも入って、この地区全体入っているという状態であることが望ましいと考えています。それが、構成員なのか、オブザーバーなのか、そのあたりは市のご担当者とお話しが必要かと思いますが、積極的にご参加いただくという立場を、できればお願いしたいと思います。

(事業主)

私の一存ではお返事が出来ないの、次回の理事会で話をする、というような形になるかなと思います。お伺いして話をする、というのは是非させていただきたいと思っておりますが、どうしても協議会を立ち上げるための準備会という考えがあるので、条例に乗らない形であれば、もう少しフランクに皆さんと意見を交わせるのかなと考えております。

(請求者)

正直言って、この条文もパンフレットも分かりにくいです。最初、条例について市から説明を聞いた時の私たち住民の理解と、この条例の実際の立て付けは違うのかなということも感じていて、私たちのまちづくりに、この条例を利用することがいいのか、正直まだわからないところがあります。ただ、話し合いの場は少なくとも必要、それも出来るだけ早いタイミングで必要というときに、この枠を使うというのが一番便利なので使いたい、準備会という協議会のためと受け取れてしまう、でも実際は違う、そこは繋がっているようで繋がっていないということです。

先ほど、メンバーではなくて、お話を伺いに来てくださるということでしたが、その立場でいらっしゃったときに、例えばルール作りどうしますか、とかそういった話に対して、サレジオさんとしては、ご意見というのはその場で出来るものなののでしょうか。

(事業主)

ルール作り等に関しましては、影響も大きいので、一個人としての意見に留まってしまうのではないかと思います。まちづくりの期間は結構長く、10年というスパンでものを考えたときに、サレジオが一貫して対応できるのか、今の経営陣の考えたことが、10年後の経営陣とリンクするのかというあたりも、逆に皆様にご迷惑をおかけしてしまう可能性もあると感じているので、ルール作りとなると、その場ではお返事できず、お時間をいただいて、持ち帰ってということになると思います。

(請求者)

準備会の場合でのルール作り、計画の話というのは、具体的なことよりも、そういうものが必要か、というような話になると思います。そうすると住民の中でも、景観を守っていく上ではルールが必要だという方と、個々の住宅は自由にさせてくれという方といると思うので、そこはそれぞれの立場でお話をする。当初は、準備会というのは協議会に続くための準備会だと私は思っておりましたが、それであれば早く協議会に移行すればいいのではないかと考えていたんですけども、そうではないということが分かったので、準備会というものを、じっくりと時間をかけて話し合いをしていく場として運営していけたらと思っております。だから、今ここでおっしゃられたこと、学園として心配されていること、地域に対して心配されていること、学園の立場として難しいと考えていることなども、そういう場で住民と共有していただけたらいいのかなと思います。

今日ここにおりますメンバーは比較的この地域の古い住民でございまして、この地域の価値というのは、東京サレジオ学園さんがあってこそ成り立って、それが一つの歴史だという感覚が染みついている人間です。また、日ごろからコミュニケーションをとらせていただける関係にもございますので、別にまちづくり準備会という器がなくても十分にコミュニケーションをとらせていただけると思っておりますし、こういった調整会という場を設けていただかなくても、意見交換が出来る関係にある訳です。

そんな中でなぜ、行政の一つの枠組みのなかでいろんな手続きを進めさせていただいているかというのは、やはり古くからいる住民は分かっていることなんですけど、これからどんどん新しい住民の方もいらっしゃいますし、周りの環境もどんどん変わってきて、歴史がだんだん薄れていきます。そんな中で、これまでみんなで培ってきた考え方や歴史というものを、未来に繋いでいきたい。もちろんそれぞれの皆さんの立場で環境が変わるわけですから、それに応じてまち自体も変えていかなきゃいけないわけですね。ですから、今回敷地の一部を売却されて宅地になるとか、サレジオ学園さんの中でも改築を進められるとか、そういった大きな環境変化があって、自然環境も大きく変わることで自体は、周辺住民としてもこれは受け止めて、そのうえで次の新たな歴史を繋いでいかなければいけない、と理解しています。ただ、古くからいる人間は分かっているしコミュニケーションも取らせていただけるんですけども、必ずしもそういう住民だけじゃなくなってくる中で、いかに枠組みを作ったうえで、将来に向けて仕組みを作っていくかが非常に重要だと思っております。今回もいろいろお話をさせていただく中で、教育法人としての立場、ルール作りをすると非常に大きな影響を持たれている、地権者として非常に大きな面積を持たれているので、事実上ほとんどサレジオ学園さんで何でも決められるぐらいの影響力を持たれている、それ自体を懸念されているという立場も私よく理解できます。ただこれは、こういったお話し合いの中でその思いを改めて理解できたことですから、たとえば準備会の中で、今後のまちづくりを地域住民と一緒に考えていく中で、サレジオ学園さんのそういったお考えも、皆さんに正しく理解していただかなくてはいけないし、その上で、そうであればルール作りというのは適切じゃないとなるかもしれない、皆さんそういう様に理解してくださるかもしれない。そうであれば、まちづくり計画とかルール作りではない別の形で、サレジオ学園さんを中心としたまちの価値を継承していくやり方ってないんだろうかとみんなで話し合っていかなければいけない。計画を作成することを目的とした会ではなく、むしろ、地域住民がまちづくりのために知恵を出し合ってい



ろいろ話し合って、本当にルール作りは必要なのか、一番大きな影響力を持たれているサレジオ学園さんとしての立場をみんなで理解したうえで、どういうやり方がいいのか、そして将来、サレジオ学園さんがまた環境が大きく変わってくるとすると、それを受けて、どういうまちづくりをみんなで考えながら地域で協力してやっていくかを、本当に長い仲で話し合っていく、それがまちづくり準備会なんだろうと思います。

それで、このメンバーだけであれば別に準備会でなくともいいと思います。ただ、私共のマンションも今月来月と新しい住民の方がいらっしゃって、非常に環境変化に対して強い関心を持っています。そういったことも含めて、何か一つの公的な枠組みの中でやっていけば、この地域は皆さんとまちづくりに関して真剣に向き合っているんだと、皆さんにご理解いただけるし、特定の地権者のエゴとか、利権のもとに進められているのではなくて、ニュートラルな立場の中で皆さん話し合って、まちづくりをしているんだとわかる、非常に大きな影響力のあるものだと思うんですね。

そういった観点からも、ぜひ準備会に構成員としてお入りいただいて、今日の内容も準備会でお話しいただければいいと思います。そして結果的にルール作りするのは適切じゃないから、別のやり方はないのかという議論も協議会でやっていけばいいだろうと、それがまちづくりじゃないのかと思うので、是非ともご検討いただきたいと思います。

準備会という枠組みの中で、フラットに皆さん意見交換できる場、そして、住民の誰もが入ってこれるような街区を作るということが非常に重要ですし、これは将来サレジオ学園さんも10年後20年後に状況が変わり、何か新しいことをされるときにも、地域のコミュニケーションという点では、皆さんにサレジオさんの立場もご理解いただける仕組みがあるという点で必ずプラスになる。いったんお持ち帰りいただいて、ご検討いただければと思いますので、よろしく願いたします。

#### (事業主)

一つ、私の方で認識が今までと違っており持ち帰ってご説明をしなければいけないと思ったのが、準備会が協議会と直結するものではないと皆様が考えていることは認識いたしました。協議会に移行しなければならぬと私も思っておりましたので、そこは改めさせていただきます。

もう一つお伺いしたいことで、構成員は、基本的にまちづくりの活動に賛成されている方がほとんどかと思いますが、地域の方には、そういった活動を賛成されない方もいらっしゃると思うんですね。そういったいろんな意見があるところに参加してしまうと、参加していない賛成していない方にとって、反対したことにならないかなということが心配です。

#### (請求者)

地区の中でもいろんなお考えがあるということですよ。まちづくり準備会の活動として、実際に会って話し合いをして、共有していくというのは構成員と、限られたメンバーになってきますので、まず少なくともその地区の方全員に発信したいということで、サイトを立ち上げました。これは地区の方にはお披露目でできてないんですけども、今後は情報を構成員であつてもなくても準備会に対して賛成している方も反対の方もすべての人に見られる場としました。

意見交換については、まだ構想段階なんですけれども、構成員の中である程度この方向という話し合いが出来てきた段階で、地区全体の方に、皆さんが自由に参加できる場、それは当然賛成意見も反対意見も言える場として皆さんが話し合える場を、オンラインで出来る環境は整えました。ですので、今ご心配されていたように、構成員だけで何か話を進めていくというのではなくて、必ずその地区全体として、いろいろな方がいるという前提で、その意見を、反対意見も含めてまちづくりに対して質の高い議論を行えると考えております。

一つ確認させてください。反対賛成というお話がありました、少なくとも準備会というのは、何か特定の計画の是非を議論するだけの場ではなくて、例えば、サレジオさんの改築計画の是非を議論する場でもないし、トヨタホームさんの宅地開発のプランについて議論をする場でもないし、環境問題や安全問題といった、まちづくりに関する大きなテーマを話し合う場です。実際、まちづくり準備会の活動の主旨、まちづくりに関すること自体を反対する方がそもそもいらっしゃるのかどうか疑問ですが、少なくとも現在は反対派と賛成派が議論している状況ではありません。確かに議論の中でルール作りが必要なのかどうかといった段階になったときは、ルール作りに賛成か反対かという意見が出てくるかもしれません。そこでハッキリ意見を述べればいいのであって、構成員として議論すれば良いわけだし、今の段階で特定の計画を巡って賛成派と反対派で調整しなければいけないということは全くないと思います。それだけは確認しておこうと思いました。

#### (事業主)

計画の賛成反対というよりも、まちづくり準備会という活動自体に対して、積極的な方と消極的な方といらっしゃると思うんですが、活動が消極的な方にとっては、「サレジオさんも一緒になって活動してるの」といった形になるあたりが心配になりました。

#### (請求者)

それは、準備会に参加すること自体が、消極的な人たちからネガティブな反応になり、サレジオさんに対して悪いイメージを持たれるのではないかと聞こえるんですが、心配されている点がピンと来なくて、準備会は何か是非を決める場ではなくて、いろんな問題や考えなくてはいけないことそれに関してコミュニケーションをとる場所で、それに関して客観的な有識者のサポートも受けられるという場です。

一言でいうと、この地域というのは、東京サレジオ学園さんなくして、良いまちはできないのです。だから、サレジオさんのお考えを地域住民がしっかり理解していないと、良いまちはできないと思います。そういう面においては、まちづくりを考える会にサレジオさんが入っていること自体に意味があることで、価値をみんなで共有する場合は、サレジオさんなくしてそもそも成り立たない。我々はそういう地域であるという感覚を持っているので、みんながそういう意識を持ち、そのうえでまちづくりをしていくことが必要だと思います。だから、まちづくり準備会に参加されることがサレジオさんのネガティブイメージにつながるということは無く、全く逆だと思います。逆に参加されないということが地域住民にとってすごく不安をおおるといえるのか、全然違うことを考えているんじゃないか、びっくりするようなことをされてしまうんじゃないかという

恐怖感すら持ってしまうというのは正直に言ってありますので、準備会の中でサレジオさんの考えを発信していただき、環境が変わったときにはそれをしっかりご説明いただいて、みんなでそれを考えていくという、そういう場を作ることが本当に大事なんだと、本当に特殊なエリアだと私は思っております。

私も以前意見書は出させていただいて、調整会開催請求まではしませんでした。こういった調整会場で小平市さんにも入っていただいて、議論しているのは、本当に特別なエリアだということを小平市にもご理解いただきたいという想いが非常に強いです。これは、しっかり議事録として公文書化されて、みんなが見れる記録になりますので、これだけ価値のあることをみんなで議論しているんだということをみんなに知っていただく、それが価値につながるんだという強い想いがある。それをぜひ理事会へお持ち帰りいただいてご説明いただきたいなと思います。

一つの例ですが、以前サレジオ学園さんの方で鐘の音が鳴らされていて、どこからか騒音という問題が出て一度やめられました。ある特定の人と一対一の関係であると、サレジオ学園さんとしても、相手との対話においては、一回鐘の音をやめざるを得ない、問題のある所だけで話をしてしまうと、一つのクレームに対して答えるということが起こってしまいますが、地域としてそれが本当に良い解決方法かというのは全然次元が違うことで、まちとか地域にとっては、鐘を鳴らし続けるのかやめるのかといった是非をそこで議論するというよりは、それについて話し合う場が持てるということが大事だと思います。先ほど言われたように、新しい人たちが入ってきたときに、問題を抱えた人たちだけで会話をするより、その地域の問題としてみんなで対話をしていく場、それが持てるということは将来に対して、まちを考えていくという機会でもあると思いますので、そういう風に捉えていただければと思います。

(事業主)

皆様からのご意見は承知いたしました。何かしらの形で地域の皆様の話し合いに参加することの必要性や、今後のサレジオ学園にとってのメリットということは重々感じておりますので、何らかの形で参加させていただきたいと思っております。構成員ということに関しましては、上の方での検討が必要でございますので、そういったあたりは持ち帰らせていただきたいと考えております。

(請求者)

持ち帰ってご検討いただくのは大体どれくらいの時間がかかりそうですか。

(事業主)

少なくとも次の理事会が6月12日ですので、それ以降になってしまうかと思えます。

(請求者)

分かりました。

(事務局)

そろそろお時間となりましたので、こちらで終了とさせていただきます。

それでは今後についてご意見を賜ります。第2回目の調整会開催を希望されるか、個別の話し合いに移っていくか、ご希望をお聞かせください。

(請求者)

調整会第2回は希望しません。

(事務局)

それでは、調整会は今回で終わりとさせていただきますが、東京サレジオ学園様には、引き続き、周辺住民の方々等への丁寧な対応をお願いしたいと思います。

以上で調整会を閉会します。本日はどうもありがとうございました。